

新年のご挨拶

会長 大岡成一

新春のお慶びを
申し上げます。



早いもので、ボランティアグループ槻輪（愛称・V G 槻輪）は、設立して7年目に入ります。IT業界の方からみれば、青年期を過ぎ、壮年期に入るのではないのでしょうか。

「V G 槻輪」のホームページも会の設立時に立ち上げ開設しました。会の活動内容は、常にインターネット上で予定を含め公開しています。ホルダー数で約300、ファイナル数で1万近くになっていきます。他の団体にはない大型の充実したホームページではないかと自負しています。

「わがまち紹介」は、私達が住んでいる“まち”を会員と訪問し関係者のお話をお聞きし、会報やホームページで広く紹介しています。これも毎月原則第3木曜日に開催していますので、会報と同じ回数になりました。今後は、今まで紹介した場所も深みをまして紹介していきたくと思っています。内容を広めていくために、第3木曜日のみでなく広く計画したり、公共の交通機関のみでは

行けない場所に足を伸ばしてみることを考えて行きたいと思っております。更に、他の団体との共同開催も考えたいと思っています。会員皆様のご意見・要望をどんどん提言して下さい。

新しい活動については、皆様のご意見を聞きながら取り組んで行きます。建設的なご意見をお願いします。これからお互いに体に気を付け、元気で活動していきましょう。

とけいそう

八阪神社は古来より神が村人と共におわします所。バス停原から山沿い南へ300m、大木に囲まれ静かに神様はおわします。社殿は小さく社務所もなく集会所がある



だけ、そこから地区の人達が会合を持たれているらしく声が聞こえてきてほっとした。まさに地域の人達に支えられている風情の原の八阪神社。起源は寺伝によると期限9世紀頃とか、毎年4月始めの大蛇祭と石槽で有名。この石槽は槽穴が最小とかで大阪府下指定文化財指定。最小如何は私にはわからない。石風呂として祭祀に使われたらしいのは芥川街道のお寺でもあったその古さに納得。この神社には6種の指定古木があつたらしいが、今は3枚の名札のみ。それも残株でカバーがしてある。社殿の横に樞（かや）の巨木があつたのを思い出したが見つからない。集会所から出て来られたご年配の方に聞いてもわからない。さらに探すところから倒れ土と同化するごとく苔むしていた。何と大きい根っこ。残念至極だが残株の一つツブラジイから新枝が木立を垣分け太陽の光を求めて一心に伸びている。社殿の瓦の流線模様の斬新さと灯籠の苔の対比が面白い。人も自然も新旧混合でいきいきしたいものです。 S・U

